

令和4年度
(2022年度)

農業委員会事務局の取り組み実績

重点的な取り組み：農業委員会の円滑な運営

毎月の農業委員会総会における許可案件等について、法令に基づいた確かな審議を行うため、普段の調査・相談活動において、委員と事務局職員との一層の情報共有化を図るなど、円滑な運営に取り組みます。

実績	月1回農業委員会総会及び協議会を開催 <3条：82件、4条：35件、5条：77件、18条：21件、その他：397件>
説明	農業委員会総会における農地の権利移動や転用等の案件及び協議会における報告案件等について、委員等との調査・相談活動において情報の共有化を図り、法令等に基づいた確かに審議を行いました。 また、令和5年（2023年）7月の委員改選に向けて、農業振興課と共同し、JA北河内の各支店や代表支部長へ概要説明を行うとともに、2月に選任の手続に関する要項を決定し、推薦及び公募を行いました。

重点的な取り組み：農地銀行による農地貸借の結び付けの強化

農地銀行に係る農地貸借希望台帳の登載件数を増やし、地域の実態に応じた活動を展開することにより、農地の貸し手借り手のマッチングを進め、利用権の設定につなげます。

また、引き続き農業委員会のホームページに農地銀行の内容について掲載するとともに、市内農業者向け情報誌「農委だより」を発行し、農地貸借希望台帳の啓発・周知を図ります。

実績	① 農地銀行によるマッチング <利用権設定面積：新規設定 33,859㎡、再設定 39,807㎡> ② 農地銀行制度のPR及び農地貸借希望台帳の啓発・周知 <農地貸借希望台帳登載件数：新規（貸し手）6,574㎡、（借り手）2人> <農業委員会ホームページへ掲載：通年、「農委だより」の発行：1回>
説明	① 枚方市が認定した新規就農者とのマッチングが成立した農地も含め、農地貸借希望台帳への登載農地について利用権が設定されました。今後も地域の実態に応じた活動を展開することにより、農地のマッチングを進め、利用権の設定につなげます。 ② あらゆる機会を捉えて制度の啓発・周知を図るとともに、各種申請書等の様式については、今後も利用しやすい制度となるよう、随時見直しを行います。

重点的な取り組み：農地適正管理システムの精度向上

的確な農地情報（農業者、所在、地番、面積等）の把握に努め、適正に各種データ等の補正を行うことにより、農地適正管理システムの精度向上を図ります。

実績	最新の農地情報の把握とデータの補正
説明	毎月総会終了後、各種データの補正を行うとともに、農家からの情報や関係機関からの通知など、農地情報を把握した場合、速やかに各種データの補正を行いました。